

市民委員会とりまとめにむけて 検討すべき項目 ～ 制度設計に関する論点を中心に～

自然エネルギー市民委員会 2001.10.29

「自然エネルギー促進法」推進ネットワーク

朝野賢司

プレゼン概要

- グリーン証書市場は機能するのか？
 - 「市場の失敗」へ懸念広がる導入欧州
 - 「市場の失敗」 日本で避けられるのか

- 先日のMETI小委員会での疑問点
 - 新エネルギー費用曲線が不明
 - 風力発電は「目標ケース」目標値におよぶ??
 - なぜ廃棄物発電を適格とするのか

- 次回、市民版「とりまとめ」案にむけて

. グリーン証書市場は機能するのか？ 「市場の失敗」への懸念ひろまる欧州

- EU域内市場創設見送りの「衝撃」
 - 9月再生可能エネルギー電力指令 域内グリーン証書市場導入断念
 - 背景 買取法導入国(独、仏、西)の反発
 - 一方 オーストリア10月開始、英国来年開始予定
 - ただし2005年での見直しでも「域内統一グリーン証書市場導入は困難」が支配的

- 2005年にGC導入再延期を決定したデンマーク
 - 市場参加者の少なさ
 - EU directiveでの域内市場創設見送り
 - 移行措置による国内対象が新規事業者のみのため
 - 事実上の「凍結」措置

・グリーン証書市場は機能するのか？
「市場の失敗」 日本のグリーン証書市場で避けられるのか？

➤ グリーン証書市場の薄さ

➤ 総消費電力量にしめるグリーン証書市場の厚み

- 日本 0.1%(2003年) 1%弱(2010年)
- デンマーク 3.5%程度(2003年、ただし導入凍結)
- オーストリア 8%(2003年)

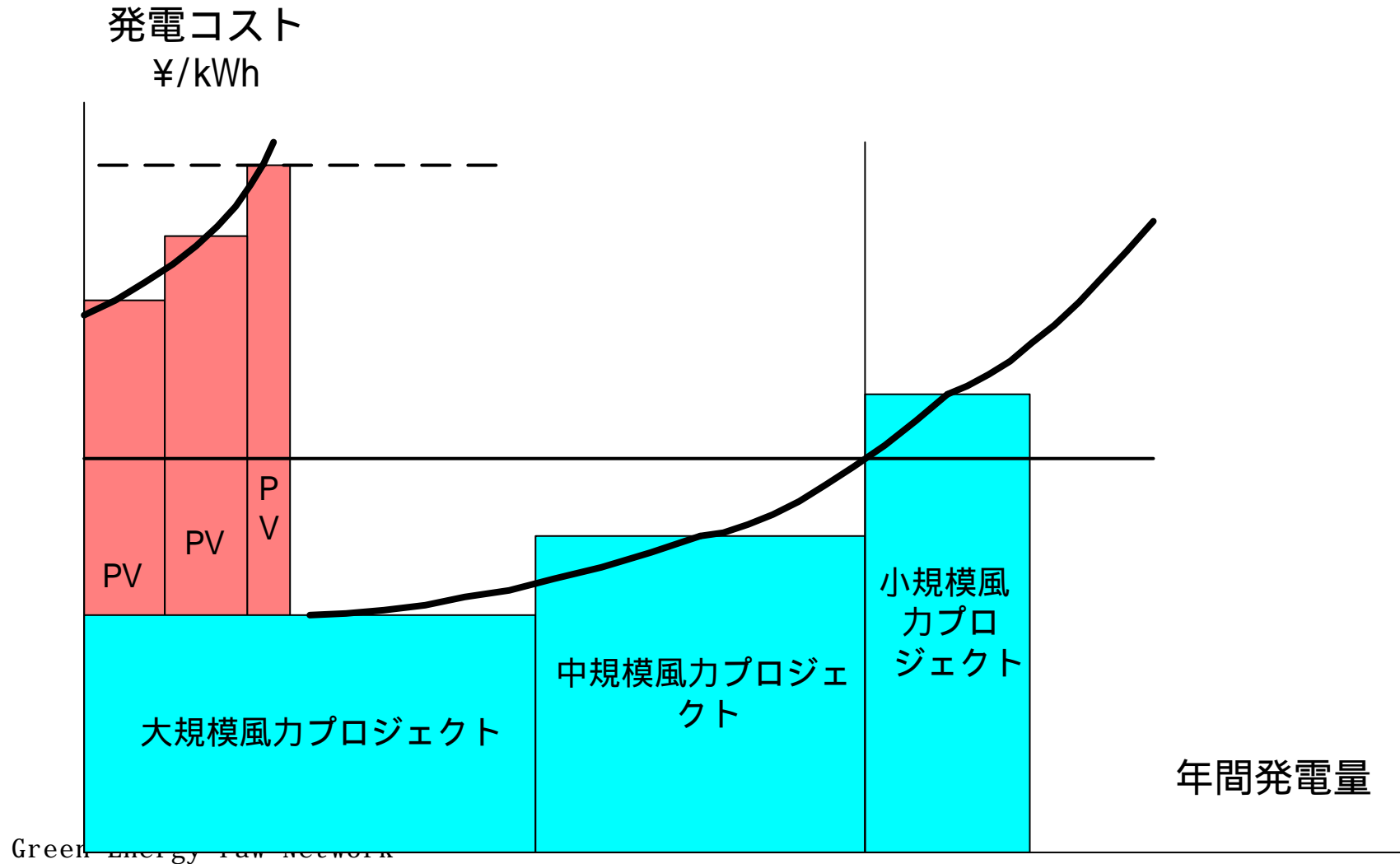
➤ 売り手、買い手 共にプレイヤーの少なさ

- 売り手 2003, 04年 風力年間23-25万kW程度
- 買い手 東電が30%以上

.METI小委員会での疑問点 新エネルギー費用曲線が非公開

- 各種新エネの費用曲線がどのような形状であるか不明で、検証できない。
- 特に開示されるべき情報は...
 - 現状での発電コストと発電量による費用曲線
 - 廃棄物発電と風力発電の費用曲線比較
 - 系統強化費用での費用曲線のおしあげ
 - 将来の費用削減予測 など

.METI小委員会での疑問点 新エネルギー費用曲線



. METI小委員会での疑問点 風力発電は「目標ケース」目標値におよぶ??

- 「2010年300万kW」の「目標ケース」目標値には達するには、設備利用率16-17%程度になると推定

	1999年実績	1999年~2010年までの増加量
設備利用率15% での推計	8.3万kW (3.5万kl)	330万kW*1 (約40万kl 約43億kWh)
設備利用率20% での推計		245万kW*2 (約40万kl 約43億kWh)

*1 43億kWhより、設備利用率15%で計算

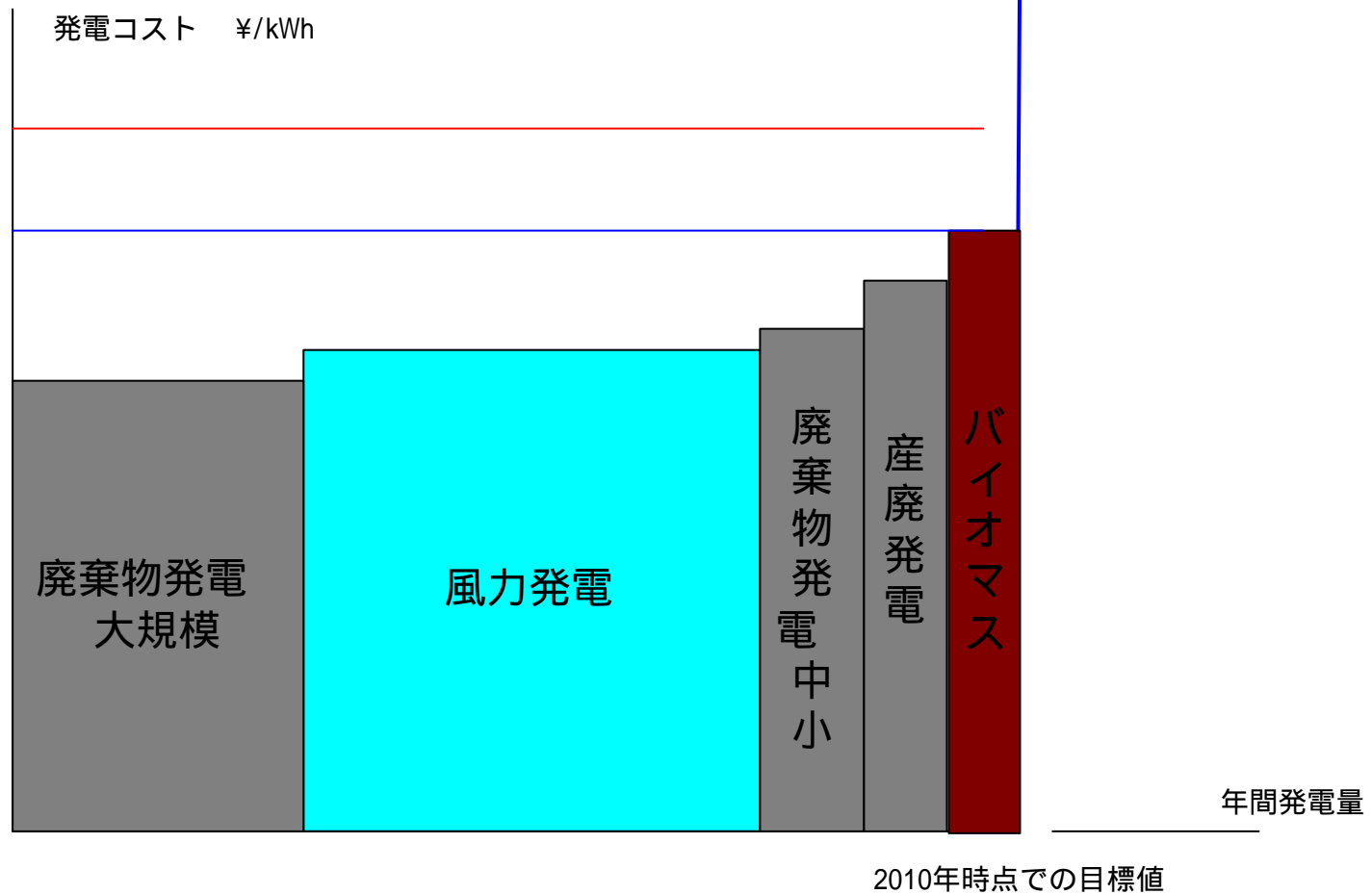
*2 43億kWhより、設備利用率20%で計算

. METI小委員会での疑問点 廃棄物発電 「適格」とする疑問

- 一般廃棄物発電
 - 300t/日以上の大規模処理施設が90%強をしめることが推定
 - 設備容量では2010年に風力と同程度になる??
 - 焼却方式等はまったく不明

- 産業廃棄物発電
 - 廃プラスチック焼却が中心か?

. METI小委員会での不明点 推定される供給曲線下での新エネ順位



. METI小委員会での疑問点 廃棄物発電 「適格」とする疑問

- 廃棄物発電を「適格」とする問題点
 - METI発表の発電コスト比較では、GC市場では最優位にある。GCで最優先されるべき電源か？
 - 各地の住民紛争が示すように社会的合意が不在
 - 廃棄物発電は分別・ごみ減量社会を最終目標とした過渡的措置。グリーン証書で促進すべきものでない
etc...

. 市民版「とりまとめ」にむけて

- 制度選択に関する整理
 - 固定価格制とRPSに関する比較
 - ボランタリー制度との調和性
- METI RPS案の批判的検討
 - METI試算、情報開示の要求
 - グリーン証書市場の成立条件検討
 - 廃棄物発電の適格性
- 共通課題の検討
 - 系統連系費用負担